

リーディングスキルテストの視点に基づく授業改善2

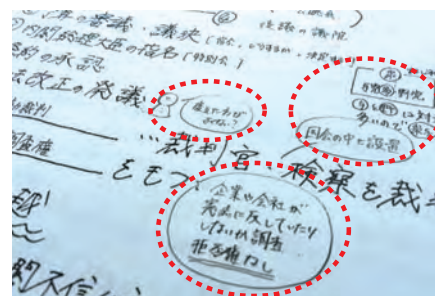
～RSTの成績がよかった生徒へのインタビューからの考察～

児童生徒が受検したRSTの結果から、特に成績がよかった生徒（中学2、3年生合計16名）を対象にインタビューを行った。以下は、生徒へのインタビュー内容（Q1～3）を考察し、日々の指導の参考になるポイントをまとめたものである。

RSTの成績がよかった生徒16人に聞きました!!

【Q1】 授業で使っているノートを見せてください。

【A1】 教師が板書した内容等に加え、授業中、自らの判断で、気付いたことや大切だと思ったことをノートに記していた。
（右のノートのように、吹き出しや枠囲みを使って、記述している）



社会科のノート(中学校第3学年)

指導のPoint

- ①問題文や本時の目標等、生徒に視写させる際は、これから何を書くか、事前に話してから板書し、教師と共に正しく書き終えるようにする。
全員の聞く姿勢ができてから、指示や説明をする。
- ②ノート指導では、板書を視写するだけでなく、自分がどのように考えたのか、疑問に思ったこと、気付いたこと、もっと追求してみたいこと等も記述するよう指導する。

【Q2】 読書は好きでしたか。（また、いつ頃から好きになりましたか）

【A2】 大好き（全員）

- ★好きになった理由…家族による読み聞かせ、学校・図書館での読み聞かせ、周りに本がたくさんあったこと
- ★好きになった時期…就学前～小学校低学年頃
- ★よく読んでいた本…小学校3、4年で、ハリーポッターシリーズやマジックツリーハウスシリーズ。
低学年の頃から、〇〇図鑑を眺めるのが好きだった。



指導のPoint

- ①活字に慣れるため、日頃から読む活動を大切にしよう指導する。
- ②様々な分野に興味・関心をもつ（新しい知識に触れる機会をつくる）ようにする。また「疑問に思ったこと」「知らない言葉」等はすぐに調べるよう指導していく。

【Q3】 自分で決断することと、周りの人が決断してくれることではどちらが多いですか。

【A3】 部活動決め、習い事（塾も含む）を始めるかどうか等、親や教師、友達に相談をするが、最終的には自分の考えを尊重してもらい決断している。（全員）

指導のPoint 生徒自身が判断・決断する場面を多く作ること、生徒の考えを尊重する周りのサポートが自主性を育てている。授業においても同様に、子供たちが自由に考えたり、判断したりする場面を設定することが重要である。

RSが高い生徒が分かりやすいと感じる授業とは？ ～生徒のインタビューより～

- 私たちが、つまずきそうな所は特に詳しく説明してくれます。また子供たち（聞き手）の受け取り方を考えて、話してくれます。（授業のUD化）
- 言葉だけの説明ではなく、絵、図、具体物等を使った授業が多いです。（可視化）（イメージ化）
- 何をすれば（考える・発言する・作業する等）よいか、分かりやすい指示を出してくれます。（焦点化）
- 用語の意味は丁寧に説明してくれます。生徒が間違えたときは、正しい用語の意味（定義）に振り返ってそれをもとに考えるよう教えてくれます。（言語化）



日々の授業をRST6つの問題タイプの視点から改善していくことが大切(※)

授業のねらい・目標の達成



詳細は以下の資料をご参照ください。

過去の関連資料

H31
RSTの視点に基づく授業改善



多層指導
MIMを用いた指導



H30研究集録
RS向上を目指した共同研究

